
男女共同参画・若手支援委員会企画シンポジウム
男女共同参画のミクロとマクロ
(Micro and macro approaches to gender equality in science)

オーガナイザー：日本生物物理学会 男女共同参画・若手支援委員会

Organizers : Promotion of Gender Equality and Young Researchers Committee

日時：9月20日（水）11:30～12:20（ランチョンセミナーの時間帯）

会場：D会場（全学教育棟 E201）

言語：日本語

昼食：お弁当とお茶を無料で提供いたします。ただし、数に限りがあります。

形式：問題提起プレゼンテーションとパネルディスカッション

司会：根岸瑠美（東大）

問題提起：高橋聡（東北大）

パネラー：豊島陽子（東大），原田慶恵（阪大），林久美子（東北大），柳澤実穂（農工大）

本間道夫（名大），由良敬（お茶大），藤原慶（慶大），豊田正嗣（埼玉大）

（当日変更可能性あり）

概要：男女共同参画を考える上で、行政政策方針や大学・研究機関・自治体などの各種制度設計について知ることが肝要であると同時に、我々研究者が直接所属する研究室や個々人の家庭内事情などは、直接自身に降りかかることであり、無視のできないものと考えられます。本シンポジウムでは、前者を男女共同参画の「マクロ」、後者を「ミクロ」と表現し、ミクロとマクロの2つの視点から、現在の問題とその解決策についてディスカッションすることを目的とします。

本企画シンポジウムは、問題提起プレゼンテーションと、8名のパネラーによるパネルディスカッションの2部構成で行います。はじめに、高橋氏から男女共同参画学協会連絡会が実施しているアンケートの結果をもとに、問題提起として女性研究者の置かれている現状を報告していただきます。その後、各パネラーの方より自己紹介をしていただき、パネルディスカッションを実施します。第一線で活躍され各種評価等にも携わっている方、女性研究者や女子学生を指導している方、現在小さなお子さんを子育て中の方、海外での子育てを経験されている方など、男女共に幅広い立場の方にパネラーになっていただきました。ワークライフバランス、出産・子育て等のライフイベント、女性のキャリアアップの実例などについてお話を伺い、男女共同参画のために何が必要か、ミクロとマクロの両視点から参加者も含めて会場で議論したいと思います。

様々な経験を持つパネラーが一堂に会します。色々なお話が聞けるとと思いますので、興味のある方は是非ご参加下さい。特に、学生、若手研究者の方の参加を歓迎します。